

# 令和3年度 入学生用 [ 理 科 ] シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
理科	化学基礎	3	必修科目	2年	
使用教科書	未定			担当者	

学習目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																		
学習方法	科学的な用語が多く登場し、また、複雑な計算が出てきますから、新しい概念をしっかりと理解することが必要となります。 高校理科は現象よりも量的な側面を重視した内容です。																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="341 740 711 767">育成を目指す資質・能力</th><th data-bbox="711 740 2402 767">育成を目指す資質・能力の評価内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="341 767 711 793">1 基盤的学力</td><td data-bbox="711 767 2402 793">文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="341 793 711 819">2 問題発見・解決能力</td><td data-bbox="711 793 2402 819">問い合わせ立て、解決に向かうことができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="341 819 711 845">3 情報活用能力</td><td data-bbox="711 819 2402 845">情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="341 845 711 875">4 主体的判断能力</td><td data-bbox="711 845 2402 875">物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="341 875 711 901">5 協働力</td><td data-bbox="711 875 2402 901">他者を尊重し、協働することができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="341 901 711 928">6 自律力</td><td data-bbox="711 901 2402 928">規範意識をもって自律的に行動することができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="341 928 711 954">7 実践力</td><td data-bbox="711 928 2402 954">自ら考えて行動し実践することができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="341 954 711 980">8 自己認識力</td><td data-bbox="711 954 2402 980">自分の思考を客観的に捉えることができる。</td></tr> </tbody> </table>	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。	2 問題発見・解決能力	問い合わせ立て、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。	8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																		
1 基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。																		
2 問題発見・解決能力	問い合わせ立て、解決に向かうことができる。																		
3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。																		
4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。																		
5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。																		
6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。																		
7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。																		
8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。																		
学習評価	以上の観点をふまえ、 授業の取り組みや定期考査、課題テスト、課題提出状況などを総合的に評価します。□																		
担当者から	化学は身近にある様々な物質と関連しているので、現代に生きる人間としての常識としても重要です。 数値計算が多くでてきますから、授業で十分な理解ができるよう日々の復習にも励んでください。																		